

ゆす はら ちよう

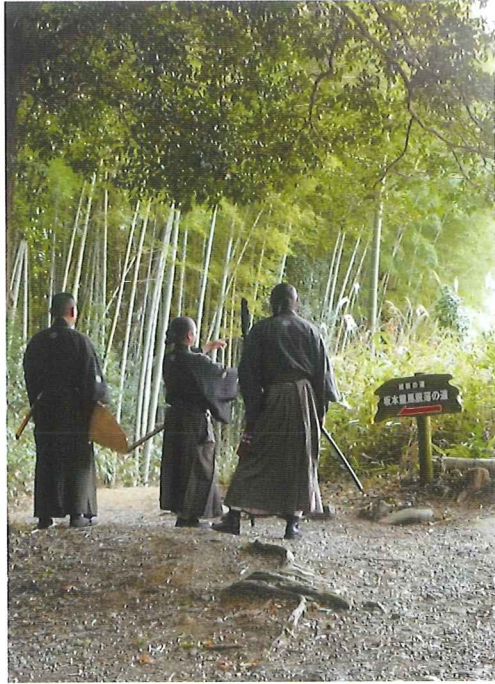
栲原町

雲の上の町 ゆすはら

栲原町の標高は220～1455mとかなりの高低差があり、町の面積の約91%を森林が占めている。人口は約3900人。高齢化率も40%を超えている山間のまち。県境の町として、古くから交通の要所として人々が往来し、茶葉を出してもてなす「茶堂文化」が生きている。

坂本龍馬脱藩の道

栲原町は坂本龍馬をはじめとする維新の志士が明日の日本を夢見て脱藩していった町でもある。志士の多くは志半ばにしていくなかで最後を遂げたが、彼等を慕う人々は今も尚、この「脱藩の道」を歩きにやってくる。昭和61年この道は「維新の道」として日本の道100選に選定された。



坂本龍馬脱藩の道



維新の門



四国カルスト(風力発電所)

環境のまち

栲原町には、太陽光や風力等自然エネルギーを利用した施設が町内各所に設置されており、現在町内で使う電気の二割は自然エネルギーでまかなっている。環境モデル都市にも選定され、水力発電、ゆすはらペレット工場、土づくりセンター、風力発電所をはじめとする栲原町の「風」「水」「光」「森」を活用した町づくりは全国的にも注目されている。

津野山神楽

栲原町の文化は「津野山文化」と呼ばれ、延喜13年(913)年、京より津野経高が土佐栲原に入国したことにより始まったとされている。津野山神楽は1千年余の歴史を感じさせる質素ながらも荘厳な舞いで、代々の神官により舞い継がれてきた。舞は全部で十八節からなり、正式に舞納めるに約八時間かかる。



津野山神楽

【問い合わせ先】神楽
栲原町 教育委員会 TEL0889-65-1350

雲の上のまちめぐり

栲原町には、日本三大カルストのひとつ「四国カルスト」、最後の清流「四万十川」、棚田オーナー制度発祥の地「千枚田」といった観光地の他、雲の上のホテル・レストラン、「雲の上の温泉」「雲の上のプール」といった施設が揃い、多くの観光客を受け入れている。他にも「まちの駅」「雲の上のギャラリー」「栲原町総合庁舎」は町産材を活用した斬新な建物で、観光客も多く訪れる。

【問い合わせ先】環境・観光
栲原町 環境推進課 TEL0889-65-1250

DATA

総人口 3,850人
世帯数 1,795世帯
面積 236.51km²
人口密度 16.27人/km²

